

第 49 回女性連合総会議案説明・懇談会 記録

日 時： 2021 年 10 月 30 日（土） 13:00～16:00（オンライン）

参加者：

女性連合役員・幹事 吉高 路（会長）、加藤 泉（副会長）、岡田富美子（副会長）、
泉 美智子（会計）、戸井田敦子（書記）、米本裕見子（幹事）

実行委員：江縁久子（釧路）、大島玲子（福島主のあしあと）、森 恭子（高崎）

吉田美紀（市川八幡）、対田澄子（相模中央）、竹之内理香（静岡）、平野信子（四日市）

井関康子（京都）、寺見まゆみ（広島）、新井宏子（若松）、結城篤子（福岡城西）

谷 貴子（長崎）、濱田文代（熊本愛泉）

女性連合会計監査：壺岐基子（前橋）

議案説明： 吉高会長、泉会計、進 行： 米本幹事

司 会： <前半>加藤副会長（5号議案まで） <後半>岡田副会長（6号議案から）

書 記： 戸井田書記

IT スタッフ・女性連合スタッフ： 岩瀬礼、山口慎子

I. オリエンテーション（米本幹事）

参加教会数：65（サテライト 22） 参加者数：142（陪席者を含む）（サテライト 64）

議長：高橋良子（筑波） 副議長：井浦 緑（三鷹）

候補者選考委員会： 秋山純子（長、上尾）

各地方連合より委員：奥村妙子（釧路）、米澤ますみ（大富）、左右田淑子（大宮）、
臼井愛子（花小金井）、近藤江利香（横浜戸塚）、山田好子（三島）、
加藤美代子（四日市）、下川裕子（大阪）、佐野静樹（岡山）、福田令子（富野）、
原田和代（福岡城西）、田中明子（相浦光）、海蔵和香（都城）

選挙管理委員会：石堂まゆみ（長・赤塚）、

委員：岩崎秀子（常盤台）・奥谷恭子（前橋）・瀬戸川美奈（恵泉）

ゲスト：日本バプテスト連盟 中田義直常務理事、坂元幸子宣教部長補佐、

井形英絵国外伝道室長、伊藤世里江アジア・ミッション・コーディネーター（IJCS）

報告書の訂正：

①報告書 p.7 献身者デー 石橋光穂さんの学年訂正 学科 1 年→学科 2 年

②報告書 p.64 祈祷週間献金一覧表中央行

門司、門司港、富野、小倉教会の献金額訂正

門司 222,023 → 0

門司港 39,600 → 222,023

富野 250,000 → 39,600

小倉 0 → 250,000

③議案書 p.6 議案書 会計監査報告 47 頁参照→48～49 頁参照

II. 賛美 新生讚美歌 130 番「永久なるみ言葉」

III. 開会祈祷： 吉高会長

IV. 議案説明・懇談会 趣旨説明： 吉高会長

本日は、第49回総会議案説明、懇談会にお集まりいただきありがとうございます。

今年度も実行委員会での協議により書面決議による総会を行うことになりました。

昨年度は、初めて書面総会を行いました。意見交換が十分にできませんでしたので、今年度は、このような会を開催することにいたしました。

皆さんから直接、質問やご意見を聴かせていただき、また今、女性連合が直面している状況や課題についても分かち合い、一緒に考えていく時にしたいと願っています。

この会は、総会ではありませんので、ここでの決議はいたしません。

ぜひ、書面総会へのご参加をお願いいたします。決議書は、11月中旬にお送りします。

さて、2020年度は、皆さんの教会、伝道所も初めて「集まらない」という状況に置かれ、翻弄され、とくに昨年は、何をするにも手探りの状態で本当に苦勞の多い1年だったと思います。各教会、伝道所の「女性会」も、メンバー同士がいかにして「繋がる」のかを、悩みながら過ごされてきたことが「女性会アンケート」から伝わってきました。

「女性連合」も、次々と活動を中止や延期せざるを得なくなりました。活動についてゼロから考えていくことは、とても大変な作業でしたが、役員、実行委員、幹事がチームとなって何とか乗り越えてきました。皆さんのお祈りとご理解、ご協力を心から感謝いたします。

また、女性連合事務局の米本幹事をはじめ3名のスタッフには、コロナ感染の不安を抱えながらも『世の光』の発行やさまざまな業務を続けてこられました。感謝いたします。引き続き、お働きとご健康のため祈りください。

私たち女性連合は、2022年度に連盟から自主独立をして50年を迎え、転換期にあります。その中で、今、女性連合が直面している大きな課題がいくつかあります。

2020年度、コロナとなってより鮮明となった課題のひとつが、「財政」です。高齢化とコロナの影響も重なり、会員数、『世の光』の購読部数の減少により、女性連合会計はますます厳しくなっています。会員数については、2019年度と比べると約300名、『世の光』については、約200冊減り、その減少は、今年度に入ってから止まりません。女性連合は、基本的に会費と『世の光』の収入で運営されていますので、この事は、女性連合の存続に関わるような大きな課題です。

また、私たちは、「世界伝道」を使命とし、「世界バプテスト祈禱週間」の推進を連盟婦人部時代から担ってきましたが、ここ数年、活動を性で分けるあり方はどうなのか、との声も聞かれるようになりました。このことも含め女性連合のあり方について、私たちは、どうしたら良いのか、どうしたいのかを、しっかり考えなければならない時に来ています。

さらに現在、連盟は機構改革を進めていますが、連盟と女性連合も一緒に「国外伝道」のこれまでの評価と働きについて、またこれからの「世界宣教」について話し合おうとしています。本日のプログラムの後半に、30分程、懇談の時をもちます。限られた時間ですが、今、お伝えした課題も含め、これからの女性連合のあり方について、皆さんの声をお聞きしたいと思います。そして今日をきっかけに、教会、伝道所や地方連合でも一緒に考えていただければと願っ

ています。ぜひ、ご意見をお寄せください。どうぞよろしくお願いいたします。

V. 議案説明 質疑応答・意見交換 (第1号～第5号議案 司会:加藤副会長)

(確認) 加盟教会・伝道所数の変更【議案書1頁】

(2020年度) 278→(2021年度) 277 (リビングホープ教会が札幌教会との合併により1減)

よって過半数139通以上をもって総会成立となる。

*補足:2020年度は福江伝道所と富江教会が統合し五島教会となったため279→278に変更。

第1号議案 女性連合加盟に関する件

(説明) 吉高会長 今回、福岡連合筑紫野二日市教会福岡南伝道所から2名の方の加盟申請がありました。感謝です。また直接ご紹介できる日が来ることを願っています。

第2号議案 2020年度活動報告承認(活動、会計、会計監査)に関する件

(活動の報告) (説明) 吉高会長

2020年度報告書3～5頁参照

1、第48回総会 書面決議について

全国的なコロナ蔓延により、対面による総会、信徒大会を中止し、初めて書面決議による総会を実施しました。直接、協議する場がなくなり残念でしたが、これまで総会への代議員派遣が叶わなかった女性会も参加し、それぞれの意思を届けてくださいました。ちなみに、2019年度に天城山荘で行われた総会参加女性会数は、委任状をあわせ170の女性会の参加でしたが、2020年度の書面総会では187の女性会が参加となりました。

また、役員、会計監査の選挙を行う事は、困難と判断し「現、役員および会計監査の今任期について、2年を3年にすること」を総会にて提案、承認され、今年度役員、会計監査は、3年目の働きとなっています。

2、世界バプテスト祈禱週間について 2020年11月29日(日)～12月6日(日)

コロナのため諸教会、伝道所での活動が思うようにいかない中でしたが、各女性会において、さまざまな工夫をしながら推進活動を進めてくださり、29,664,914円もの献金が世界宣教の働きのためにささげられました。あらためて感謝いたします。

尚、2019年度、2020年度に女性連合から連盟におささげした献金についての国外伝道決算、補正予算案は、議案書32～33頁に資料として載せています。ご覧ください。

3、第3回三バプテスト女性会研修会について

今年の2月に開催予定でしたが、コロナのため2022年6月21日(火)～22日(水)に延期となりました。

4、第31回全国小羊会デイキャンプ(オンライン)・リーダーの集い(オンライン)について

・1983年に第一回全国小羊会キャンプ・リーダー研修会が開催され、30回に渡って天城山荘で開催されてきましたが、コロナのためやむなく2019年度は延期、2020年度は、オンライン開催となりました。初めてのことで、準備に苦労しましたが、多くの子どもたちが期待して参加していただき、3日間で延べ約260名の参加でした。4組の働き人と繋がり、ライブで直接メッセージを伺うことができ、イエスさまが先だって働かれている世界に目を向ける時となりました。

リーダー研修会は、名称を「リーダーの集い」とし、コロナ危機の中での子どもと教会の関

わりについて、共に考える時を与えられました。このように、オンラインでのプログラムができ、同じ時を過ごし、互いに励まされる時をいただけたことは幸いでした。

・第13回6・23「沖縄（命どう宝）の日」学習ツアー、第5回アジアフィールド伝道（於：カンボジア）については、報告書にある通り中止となりました。

・2020年度の女性連合奨学生は、間村史子さん、林 守鎮さん、松坂凧枝さんの3名、2021年度には、石橋光穂さんも加わり、2021年度は4名の方を女性連合奨学生として覚えお支払いしています。お一人ひとりの学びとご健康のためお祈りしてまいりましょう。

（報告書7頁参照）

◇2020年度会計報告 （説明）泉会計

報告書36～47頁参照

会計の泉美智子です。よろしくお願いいたします。

報告書 36 頁・37 頁をお開きください。議案書は1 頁・2 頁です。報告書・議案書をお持ちでない方は画面共有していますので、ご覧ください。

2020 年度の一般会計・『世の光』会計は、新型コロナウイルス感染前の 2019 年度 10 月の総会で予算が承認されました。そのあとコロナ感染が拡大しましたので、2020 年度の書面総会ではコロナ感染状況にある補正予算として承認されました。それが報告書の (A)「2020 年度補正予算」です。それに対しての「2020 年度の実績」は (B) です。科目に番号を打っていますので、はじめに番号を読み上げてから各科目の説明をいたします。よろしくお願いいたします。それでは、

2020 年度一般会計収支報告をいたします。

一般会計は、加盟教会・伝道所の女性会会員の皆さんが納めてくださっている会費（お一人年額 2,400 円）を主な財源として活動・運営している会計です。

まず 2020 年度の＜収入＞について

①連合会費 8,673,600 円。これは前年度から 300 名減って **3,614** 名の実績です。

②総会献金 書面総会でしたので 0 円でした。

③特別献金 402,943 円。

④小羊会キャンプ助成金

これは、全国小羊会キャンプのため、共催している連盟からの助成金です。20 年度は実施できると期待し、60 万円の予算を計上していましたが、19 年度に引き続き 20 年度も通常開催ができませんでした。その代わりにオンライン開催になり、そのための費用は、（表の欄外下※1）にあります前年度からのキャンプ費繰越金で十分賄うことができましたので、連盟からの助成金は 0 円でした。

⑥当年度収入合計は 9,076,567 円。これは前年度の 80%で、2,258,985 円減りました。

⑦前年度繰越金は 11,250,131 円（ここにキャンプ費前年度繰越金 1,362,055 円が含まれています）。

⑧収入合計は 20,326,698 円でした。

次に<支出>の方に移ります。主なところを説明いたします。

⑨活動費と⑫会議費はコロナ状況のなか、活動が制限され、また実行委員会も役員会もすべてオンラインで行いましたので支出が抑えられました。

⑬小羊会キャンプ費 254,067円 19年度は延期になったので20年度はその繰越金も含めて250万円の予算にして3学年で通常開催するための補正予算でしたが、感染拡大の為できなくなり、オンライン開催となりましたので、実績は予算に対して10%でした。

⑬事務費 ⑮人件費 ⑯事務所費について説明いたします。

この3科目は、一般業務と『世の光』業務において共通業務となりますので、それぞれの合計の40%を「一般会計」から、60%を「『世の光』会計」と振り分けて、それぞれ「共通分担金」として支出しています。

⑬事務費についていえば...事務費の内訳(⑰～⑳を合わせた)事務費の合計は⑬事務費の【備考欄】にある750,338円です。その40%をこの一般会計から支出しました。それが⑬の事務費の300,135円です。そして

⑰共通事務費分担金 -450,203円。これは事務費の合計750,338円の60%を共通分担金として『世の光』会計から支出するのでマイナス計上になっています。

以下 ⑮人件費 ⑰共通人件費分担金 ⑯事務所費 ⑱共通事務所費分担金も同じようにして支出しています。

⑳一般協力費については(欄外※2)に对外協力献金先を記載しています。

また ㉑ ㉒ ㉓それぞれの積立金は報告書42頁～47頁の「特別会計」に繰り入れています。

㉔当年度支出合計は 6,753,993円 前年度の75%で2,286,844円減っています。

㉕当年度収支差額は 2,322,574円

㉖次年度繰越金は 13,572,705円 (ここには、欄外の(※1)に記載していますが、前年度繰越金から今年度のキャンプ費を引いての次年度繰越金1,107,988円が含まれています。)

㉗支出合計は 20,326,698円になりました。以上です。

かいつまんで報告しましたので科目一つ一つについては議案書、報告書にてご確認ください。

収入は、コロナの影響もあり予算に対して83%にとどまりましたが、支出の方も活動費・会議費・小羊会キャンプ費が抑えられ、予算に対しては68%でしたので、当年度の収支は黒字となりました。

しかしながら、先ほども会長から報告がありましたように、主な財源である会費の納入者が前年度に比べて300名減っています。報告書の50頁・議案書は後ろの方30頁をお開きください。上の表「会費収入・会員数の推移表」をご覧ください。会員数は2016年度4080名、2017年度は4,000名を切って3,965名、また、ここ2018年度からの減少が大きいのがわかります。実際に高齢化などによる会員の減少もあると思いますが、特に2020年度はコロナ状況の影響もあってか、加盟されている教会・伝道所の会費未納がありました。女性連合の活動・運営は、会費と『世の光』誌代によってのみ賄われていますので、会費をその年度内に納めてくださいますことをよろしくお願

いたします。会員の減少については、これからの大きな課題として後ほど皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。以上です。

次に、報告書 40 頁をお開きください。議案書は 4 頁・5 頁です。

2020 年度 世界バプテスト祈禱週間献金収支報告をいたします。

世界バプテスト祈禱週間献金として各教会・伝道所からささげられた献金の使途をあらわす会計です。

まず（収入）について

①世界祈禱週間献金 目標額としてあげられていました予算は 4,000 万円でした。それに対して実績（ささげられた献金額）は 29,662,407 円で、達成率は約 74%でした。

②雑収入 2,507 円を入れて収入合計は 29,664,914 円でした。

次に（支出）の方は…

③世界伝道に 25,842,590 円

内訳は 国外伝道に 24,060,304 円 国内伝道に 1,782,286 円です。どちらも連盟を通してささげられます。年度末で締めて、達成率に見合った額が算出され翌年の送金となります。

④～⑨の 6 団体は、女性連合の総会で提案され承認された女性連合独自の支援団体で、各 20 万円を年度内に送金いたしました。

⑩アジアフィールド伝道 700,000 円 17 年度 70 万円・18 年度 40 万円・19 年度 40 万円・と積み立てて、合計 150 万円で 19 年度実施の予定で、すでに 12 月に準備会をしていました。が、そのあとコロナ感染拡大のために実施することができなくなりました。準備のための費用 100,653 円を 19 年度分の 40 万円から引いて 299,347 円。ですから 17 年度から 19 年度の合計 1,399,347 円が 20 年度に繰り越されていまして、延期して 20 年度に実施するというので 70 万円を計上していましたが、20 年度も残念ながら実施できませんでしたので、その費用 2,099,347 円はこれからのアジアフィールド伝道実施のためにプールして繰り越します。

⑫国際緊急支援 300,000 円は表の欄外下（※2）にありますように、コロナ感染危機の中、緊急に支援を必要としている 2 団体と熊本豪雨災害支援とに各 10 万円を年度内に送金いたしました。

⑬推進活動費 1,300,000 円

「推進活動費」においては、【余剰が出たら「国際緊急支援」にまわすことができる→さらに余剰がある場合には「国外伝道」への献金とする】ことが、2019 年度の実行委員会において検討され総会で承認されました。20 年度の推進活動費は、「推進会議費」が「沖縄学習ツアー」が中止されたことで 3 科目の実績は 522,324 円でしたので余剰金は 777,676 円になります。そのなかの 60 万円を「国際緊急支援」として、コロナ感染危機の影響で、財政的に厳しい状況の中にある、特に女性たちを支援したいということで 5 団体に年度内に送金いたしました。支援

先は開いておられる報告書 41 頁《報告》というところの【項目 13】に記載していますので、そちらをご覧ください（議案書の方は画面共有をご覧ください）。
残りの余剰金 177,676 円は「国外伝道」への献金としました。「国外伝道」の備考欄の※1（表の欄外下にそのことを記しています。）

⑭調査・育成費 300,000 円はそのまま特別会計「調査・育成費積立金」として繰り入れました。
支出合計 29,664,914 円です。 以上です。

次に、開かれている報告書の 41 頁 議案書もそのまま5頁です。

2020年度(世界バプテスト祈禱週間献金)の貸借対照表

ご覧ください。

「世界バプテスト祈禱週間献金」の 2020 年度末(2021 年 3 月 31 日時点)の会計状況です。

表の右「貸方(かしかた)」の「未払金」の内訳は、表の下にあります。

連盟を通してささげる「世界伝道」と「アジアフィールド伝道」の費用です。

「世界伝道」の費用は、先ほど説明しましたように、この時点では「未払い」扱いとなっていますが、翌 2021 年 7 月に送金しました。

「アジアフィールド伝道」の費用は延期のため次回に繰り越されるため「未払金」扱いとなります。

以上です。

次の頁、報告書 42 頁～47 頁は

2020 年度特別会計の報告になります。議案書は 5 頁 6 頁です。

42 頁 奨学会会計

毎年 9 月の「献身者デー」を覚えてささげられた献金です。20 年度は 1,458,549 円ささげられました。奨学生（20 年度は 3 名でした）3 名の方に、年間お一人 24 万円を支給しました。

43 頁 出版基金会計

女性連合出版物の売り上げ収入の積立金です。22 年度の「50 周年記念誌」出版に関する費用はここから支出します。

後は 44 頁・45 頁・46 頁・47 頁までありますので、ご覧ください。

2020 年度の会計報告は以上です。

◇会計監査報告

壱岐会計監査より

報告書48～49頁参照

【質疑】

奥谷（前橋）：世界バプテスト祈祷週間献金先についてお聞きする。報告書 40 ページの国際緊急支援については、余剰がある場合に行うという説明があったが、全体の財政は余剰のない状況だ。これは推進活動費の枠内で余剰があったから、ということなのか。この献金の支出の判断基準を伺いたい。

幹事：ご指摘のように、推進活動費の 130 万円の予算から見て余剰があったと判断した。沖縄学習ツアーができなかったということもあり、その分を国際緊急支援にまわした。推進活動費の枠内で余剰が出た場合は国際緊急支援、さらに余剰があった場合は世界伝道にという判断についての決議は、先回の総会で承認されている。

第 3 号議案 2022～2023 年度役員及び会計監査選挙に関する件

（説明） 石堂選挙管理委員長

- ① 選挙管理委員会は、10 月 21 日（木）午後、さいたま市南浦和の連盟事務所にて、女性連合役員／会計監査選挙の開票作業を行いました。委員として作業にあたりましたのは私、赤塚教会・石堂まゆみ、前橋教会・奥谷恭子さん、常盤台教会・岩崎秀子さん、恵泉教会・瀬戸川美奈さんの 4 名です。経過と結果をお知らせいたします。
- ② 投票総数は 176 票です。内、7 票が白票でした。女性連合加盟教会総数 277 の過半数、139 を満たしましたので、この選挙は成立いたしました。
- ③ 開票結果は次のようになりました。（画面共有「開票結果一覧表（別紙）」）
選出には、得票数が投票総数の過半数を満たしていることが必要です。今回の投票総数 176 から白票の 7 を除いた 169 の過半数、85 を満たして当選となります。では右上から順に見てまいります。教会名・お名前・得票数の順で読み上げます。（読み上げ）
今回、過半数を満たして選出されたのは、会長職、市川八幡教会の吉高路さん、副会長職、高崎教会の森恭子さん、このお二人でした。
- ④ 副会長に選ばれました森恭子さんから、開票の数後日、「辞退願い」のお手紙を頂戴いたしました（内容を画面共有・読み上げ）。私ども選挙管理委員会は、この件について話し合いました。今回の森恭子さんのお手紙を拝見して、連盟の「監事」として多岐に亘る役割を担っておられること、また、そのお立場の難しさなども知らされました。また今、日本バプテスト連盟は『機構改革』が推し進められており、監事としてのお働きの重要性和責任の重さを受け止め、今回、選挙管理委員会は、森恭子さんの「辞退願い」を受理することといたしました。従って、会長職以外の、副会長 2 名、書記 1 名、会計 1 名、会計監査 2 名について「決選投票」を今後、行うこととなります。
- ⑤ ここで、決選投票の規約についてご説明いたします（女性連合ハンドブック 19 頁）。

【日本バプテスト女性連合細則・規定】の「役員および会計監査選出細則」第2条、第5項「役員候補者の得票数が過半数に満たない場合には、会長／書記／会計については上位2名による決選投票で1名を、副会長／会計監査については上位3名による決選投票で2名を選びます」とあります。決選投票では、得票が過半数ということではなく、得票上位から1名、ないし2名を選ぶことになります。

*補足：*漢字について「決戦」は「決選」が正確。

⑥ 従いまして、次回の決選投票は

- 副会長職は森さんを除いて次点から3名を候補として2名選出
- 書記は得票上位2名を候補として1名を
- 会計は得票上位2名を候補として1名を
- 会計監査は得票上位3名を候補として2名を選出することとなります。

(もう一度先ほどの「開票結果一覧表」を画面共有)

ではここで、各役職の決選投票の候補者のお名前を、得票順に申し上げます。

副会長候補3名 函館教会 本多依子さん
福岡ベタニヤ村教会 大石和可子さん
高松太田教会 大竹千賀さん この3名から2名を選出

書記候補2名 西川口教会 戸井田敦子さん
仙台長命ヶ丘教会 金丸陽子さん この2名から1名を選出

会計候補2名 古賀教会 泉美智子さん
浦和教会 廣島規子さん この2名から1名を選出

会計監査候補3名 常盤台教会 友納薫さん
筑波教会 高橋良子さん
多良見教会 松本素代美さん

この3名から2名を選出することになります。

以上のように、決選投票を行います。

- ⑦ 今後のスケジュールです。11月11日の全国発送で投票用紙を加盟女性会へ郵送いたします。締切りは12月17日(金)です。どうぞ期限を守ってご投票、ご返送くださいますよう、よろしく願いいたします。

2021年10月30日

選挙管理委員長 石堂まゆみ

質疑応答はなし

第4号議案 幹事推薦に関する件

(説明) 吉高会長：

米本裕見子さんは、幹事として2016年4月から今年度で3期6年を終えられます。引き続き、2022年4月からの4期3年間の働きについても米本さんを推薦します。

女性連合の転換時期にあって、今後通常に加えて更にさまざまな働きが増えてきます。ご健康とお働きのため祈りお支えください。

質疑なし

第5号議案 21年度補正予算に関する件について

◇活動 (説明) 吉高会長

議案書7～8頁参照

2021年度活動方針

主題・「みことばに立つ」 副題・地の塩として歩むために

聖書・詩編119編105節「あなたのみ言葉は、わたしの道の光 わたしの歩みを照らす灯」

昨年度の総会に於いて承認されたがコロナで変更になっている活動を中心にお伝えします。

(活動)

・6・23「沖縄(命どう宝)の日」6月23日

今年度、学習ツアーが中止となり、6月を「沖縄(命どう宝)の日」月間として動画を作成し、6月から8月に女性連合HPから動画を配信しました。礼拝やzoomでの分級などでも用いてくださった教会、伝道所もありました。沖縄に行かれたことのない方や教会の子どもたちも一緒に、現地の様子を見て知ることができてよかった、との感想がありました。

・第49回女性連合総会(書面決議総会)について 総会日12月20日(月)

11月中旬に全国発送で「決議書」と「役員、会計監査の決選投票用紙」を送ります。加盟教会、伝道所の過半数(140通)以上の決議書をもって総会成立となりますので、資料をご覧ください、早めにお送りください。締め切りは12月17日(金)です。総会日当日は、議長、副議長の立ち会いのもと、開票作業にあたります。お祈りください。

・オンライン信徒大会 10月23日(土)

今回のオンライン信徒大会には、97教会、伝道所、307名の参加者が集い、その中の半分以上の方がたが教会に集いサテライトでの参加でした。奨学生の証し、伊藤世里江AMCから励ましのメッセージ、また連盟から派遣している働き人からの近況を伺うことができ感謝でした。ハプニングもありましたが小グループで祈り合うこともでき、恵み豊かな時を過ごすことができました。画面上ですが2年ぶりの大会では、初めて参加くださった方がたとの出会い、また毎年参加くださっている方がたとの再会の時となりました。皆さんの顔を拝見しただけでも繋がりを感じ、喜びの時をいただきました。

・オンライン議案説明、懇談会 10月30日(土)

・2021年度世界バプテスト祈禱週間について 11月28日(日)～12月5日(日)

11月は、「世界バプテスト祈禱週間」が始まります。世界宣教の働きのため覚え祈りを合わせてまいりましょう。今年度は、4,000万円の目標をかかげています。よろしくお祈りします。

「世界バプテスト祈禱週間」の推進のために、今年も「働き人のビデオレター」を作成し、既に女性連合 HP に、たくさんの写真と共にアップされています。また、「ビデオレターの DVD」も販売しています。女性連合事務局にお申し込みください。

・第32回全国小羊会キャンプ・リーダー研修会について

女性連合と共催の連盟宣教部との協議によって、今年度もオンラインで行う事になりました。日程は、来年3月29日（火）～31日（木）、リーダー研修会は、2月に開催いたします。第1信は、11月の全国発送でお送りします。新5、6年生の子どもたちへの声かけや励ましをお願いします。

・BWA（世界バプテスト連盟）女性部大会について

7月7日、5年に1度の「BWA 女性部世界大会」がオンラインで開催され、各国から150名以上の参加者が集いました。女性連合から8名が参加し、同時刻に世界中と繋がり、恵み豊かな時となりました。世界各国で行われる大会やプログラムがオンラインで実施されることで、教会や自宅に居ながらにして世界と繋がることができるようになりました。これからも、積極的にご参加いただければと思います。

・なお、第3回三バプテスト女性会研修会、第13回6・23「沖縄（命どう宝）の日」学習ツアーは、2022年度の活動へ延期となりました。

◇2021年度会計補正予算の説明(泉会計)

報告書 72 頁・73 頁をお開きください。後ろの方の黄色い頁です。

議案書は9頁・10 頁です。

2021年度「一般会計」補正予算(案)です。

表をご覧ください。

「2021 年度の補正予算」は表の右です。表の真ん中の「2021 年度予算」は、コロナ感染前の 2019 年度の総会で承認されたもので、通常会計になっています。表の左は、先ほど 2 号議案で報告しましたコロナ感染状況のなかにある 20 年度の実績です。今年度 2021 年度もコロナ状況下にありますので、20 年度の実績を参考にして補正予算を計上しました。

まず<収入>について

- ① 連合会費 8,880,000 円 予算は 4,000 名で 9,600,000 円としていましたが、20 年度の実績が 3,614名でしたので、鑑みて 3,700 名で 8,880,000 円としました。
- ② 総会献金 今年度も書面総会のため 0 円にしました。
- ③ 特別献金 20 年度の実績から予算 80 万円を 400,000 円に。
- ④ 小羊会キャンプ助成金 今年度も通常開催ができなくオンライン開催となります。
その費用は、今までのキャンプ費の繰越金で十分賄うことができますので 0 円にしました。

⑤ 当年度収入合計は 9,280,000 円になります。

⑥ 前年度繰越金 13,572,705 円(ここにキャンプ費の繰越金 1,107,988 円が含まれています)

⑦ 収入合計は 22,852,705 円です。

次に<支出>ですが…コロナの影響で予算から大きく変更があったところを説明いたします。

- ⑨活動費 650,000 円を 300,000 円に。内訳は…
- ⑩(一般の)活動費 予算 450,000 円を実績から 200,000 円にしました。
- ⑪50 周年記念誌 20 年度は委員会がなかったので0円でしたが、22 年度の 50 周年記念誌発行に向けて、今年度は委員会が開催されることを想定して、予算 200,000 円になっていますが、オンライン会議となりますので 100,000 円にしました。
- ⑫会議費は 実行委員会も役員会も、会議はすべてオンラインで行いますので、予算 1,750,000 円を 250,000 円にしました。
- ⑬総会費は 予算 600,000 円を 200,000 円にしました。20 年度の実績は 95,839 円ですが、昨年度延期になった役員および会計監査の選挙を行います。そのための候補者選考委員会と選挙管理委員会活動の費用を加えています。
- ⑭小羊会キャンプ費は 今年度も通常開催はできなくオンライン開催となりますので、
予算200万円を 20 年度実績から 300,000 円にしました。通常開催が中止になった 19・20 年度からの繰越金がありますので、そこからの支出となります。
- ⑮事務費～⑳雑費までは、コロナの影響はない科目で、ほぼ予算通りにしています。
ただ㉑の交通費ですが、これは、幹事・スタッフの通勤のための交通費(実費)です。
20 年度コロナ危機の中で在宅勤務併用となった実績から 200,000 円にしました。
- ㉒当年度支出合計は 7,419,000 円になります。
- ㉓当年度収支差額は 1,861,000 円です。
- ㉔次年度繰越金は 15,433,705 円(この中にキャンプ費前年度繰越金 1,107,988 円から 21 年度小羊会キャンプ費 300,000 円を引いた 807,988 円が含まれます)。
- ㉕支出合計 22,852,705 円です。 以上です。

続けて、報告書 74 頁をお開きください。議案書は 10 頁です。

2021 年度「世の光」会計 補正予算(案)です。

<収入>について

- ①「世の光」代金 予算 14,040,000 円を 12,744,000 円としました。
(内訳)は
- ②誌代 予算は、3,200 冊での予算でしたが、21 年度は2,900 冊で 12,528,000 円としました。このことについてはのちほど説明いたします
- ③CD代 CD も今年度は減る傾向にあります予算通り 50 枚として 216,000 円。
- ⑤当年度収入合計は 12,744,000 円になります。
- ⑥前年度繰越金は 3,643,487 円で
- ⑧収入合計は 16,387,487 円になります。

次に

<支出>については⑨～⑭まで 20 年度の実績を鑑みて補正しました。

⑮事務費・⑯人件費・⑰事務所費については、それぞれの科目の合計の60%を分担金として、前の頁<2021年度一般会計補正予算(案)>の科目⑳㉑㉒のマイナス計上の額の支出になります。

⑱当年度支出合計は 13,166,000 円になります。

㉑当年度収支差額は -422,000 円です。

㉒次年度繰越金は 3,221,487 円

㉓支出合計は 16,387,487 円です。

先ほど 51 頁の『『世の光』誌と CD 購読数の推移表』を見ましたが、購読者数が年々減少して 2020 年度は 3023 冊でした。21 年度は、年度初めの段階でさらに 86 冊減って 2,937 冊と 3,000 冊を切り、そのあと CD も含めて月ごとに減っていますので、そのような現実を鑑みて 2,900 冊での補正予算としました。その結果、収支が赤字となりました。21 年度・22 年度の実績がどうなるかわかりませんが、いずれにせよ、これから購読者数が増えないで、このままいくと、繰越金を取り崩していく状況になり、さらに一般会計から繰入れるようになれば一般会計も危うくなってくるのではないかと懸念しています。以上です。

質問はなし

(第6号～第10号議案 司会:岡田富美子副会長)

第 6 号議案 2022 年度活動方針・活動計画に関する件

議案書10～12頁参照

活動方針 主題・「常に祈る」 副題・世界の平和を望みつつ

司会者：聖書と讃美歌について、3案の候補が挙げられていますので、決議書に A、B、C のどれかを選んで決議書に印を付けてください。

(候補)

A エフェソ6：18

どのような時にも、“霊”に助けられて祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい。

新生讃美歌 8番「主の呼びかけに」

B マタイ5：9

平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。

新生讃美歌337番「来れや キリスト信じる者たち」

C I テモテ2：1b

願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい。

新生讃美歌 443番「朝の祈り」

活 動 (説明) 吉高会長

・機関誌『世の光』発行

・沖縄(命どう宝)の日 2022年6月23日(木)

第14回6・23「沖縄(命どう宝)の日」学習ツアー

日程:6月23日(木)~24日(金)開催

第3回三バプテスト女性会研修会と併せてご予約ください。

・第3回三バプテスト女性会研修会 (延期により22年度活動として追加)

日程・2022年6月21日(火)~22日(水)

会場・那覇バプテスト教会(沖縄連盟) 宿泊・宿泊先は各自で予約

研修会の詳細については、来年1月頃に送付予定。準備を進めてくださっている沖縄バプテスト連盟女性会の方がたのため、また実現しますようお願いください。

・献身者デー (9月例会日)

・第50回(2022年度)女性連合総会・信徒大会

昨年度の「書面総会」第8号議案で、10月19日~21日に天城山荘で開催することが承認されていましたが、コロナのワクチンが行き届いたとしても、まだまだ予断が許されない状況です。役員会、実行委員会で慎重に検討した結果、来年度も総会は、書面決議総会、信徒大会は、オンラインで行うことを提案いたします。

日程は、書面総会(決議書開票日):12月19日(月)、オンライン信徒大会:10月22日(土)の予定。なお、女性連合50周年記念大会については、2023年度10月に開催予定です。

・BWA世界祈禱日(11月第一月曜日) 2022年11月7日(月)

・世界バプテスト祈禱週間 2022年11月27日(日)~12月4日(日)

・第33回全国小羊会キャンプ・リーダー研修会

日程(予定):2023年3月28日(火)~3月30日(木) 場所・開催方法:未定

開催場所は、未定としています。天城山荘については、連盟の決定により今年の2月から「長期休館」となっています。今後、どのようになっていくのか分かりません。ふさわしい場所が見つかりますよう、お祈りください。

・50周年記念誌特別委員会

50周年記念誌は、2022年度中の発行を目指して作成を進めています。執筆者の方がたのためお祈りください。

・これからの女性連合検討チームについて

時代が変わる中で「これからの女性連合検討チーム」を立ち上げ、女性連合の歴史を振り返りつつ、使命やひとつひとつの活動、財政、規定についても確認、検討し、これからの女性連合のあり方について考えていきたいと思えます。財政の課題があるので、ゆっくりとはできませんが、丁寧に進めていきたいと思えます。

・その他

質問はなし

第 7 号議案 2022 年度予算に関する件

説明：泉会計

報告書 76 頁・77 頁をお開きください。後ろの方の黄色い頁です。議案書は 12 頁・13 頁です。

2022 年度 一般会計予算(案)です。

コロナ感染の状況が、まだ先行き不明ではありますが、今少し収まりつつあるような中で、2022 年度は収束に向かうことを期待して、通常会計として予算を計上しました。しかし総会に関しては慎重に、そして早めの決断が必要となり、22 年度も書面総会で、ということを実行委員会から提案させていただきましたので、「総会」に関わる科目は「書面総会・オンライン信徒大会開催」ということで予算を計上しています。他の科目はこれからのコロナ感染状況を見て修正が必要であれば「2022 年度補正予算」で修正していきたいと思えます。

まず(収入)について...

①連合会費は 補正予算と同じ 3,700 名で 8,880,000 円

②総会献金は 書面総会ということで 0 円です。

③特別献金は 補正予算と同じ 400,000 円

④小羊会キャンプ助成金 通常開催を予定して 600,000 円。

過去 3 回はオンライン開催だったため、繰越金が 807,988 円あります。通常開催の時は連盟からの助成金 100 万円と女性連合の 100 万円を合わせて 200 万円の予算で開催していましたので、200 万円から繰越金 807,988 円を引くと 1,192,012 円。約 120 万円を連盟と女性連合で折半するというところで、連盟からの助成金を 600,000 円として計上しました。

⑥当年度収入合計は 9,880,000 円になります。

⑦前年度繰越金が 15,433,705 円(キャンプ費繰越金 807,988 円が含まれています)

⑧収入合計は 25,313,705 円です。

続いて(支出)の方ですが、2022 年度の会計としては初めての数字になりますので、支出の方もひとつひとつ読みあげたいところですが、時間の関係で、説明が必要なところのみにいたします。

⑨活動費は 400,000 円。

(内訳の)

⑩活動費 200,000 円 通常の活動費と先ほど提案がありました「これからの女性連合検討チーム」の活動費用は、ここから支出します。

⑪50 周年記念誌 200,000 円 50 周年記念誌特別委員会の活動費と 22 年度の記念誌出版費用を 47 頁の特別会計の「出版基金会計」から支出しますので、そのための積立金として 200,000 円にしました。

⑫会議費は 25 万円を 1,000,000 円に。

(内訳として)

⑬実行委員会は コロナ収束になれば 1 回は対面で、そして他はオンラインで開催ということで

700,000 円

- ⑭役員会も 対面とオンライン併用で開催ということで 300,000 円としました。
- ⑮総会費 書面総会と信徒大会のオンライン開催で、21 年度補正予算と同じく 200,000 円
- ⑯小羊会キャンプ費 通常開催で 2,000,000 円
- ⑰事務費・⑱人件費・⑲事務所費は、それぞれの合計の 40%を共通分担金として支出します。
- ⑳当年度支出合計は 10,049,000 円で
- ㉑当年度収支差額 -169,000 円です。
- ㉒次年度繰越金 15,264,705 円
- ㉓支出合計 25,313,705 円。以上です。

次の頁です。報告書 78 頁です。議案書は 13 頁です。

2022 年度 『世の光』会計予算(案)です。

(収入)については...

- ①世の光代金 12,744,000 円
- (内訳)
- ②誌代 2020 年度補正予算と同じ 2,900 冊で 12,528,000 円
- ③CD代 50 枚で 216,000 円
- ④当年度収入合計 12,744,000 円
- ⑤前年度繰越金 3,221,487 円
- ⑥一般会計より繰入金 0 円です。
- ⑦収入合計は 15,965,487 円になります。

続いて(支出)です。数字を全部読み上げたいのですが省略します。ほぼ 21 年度の補正予算と同じにしています。

- ⑧編集委員会費 は、これまですべてオンラインでの委員会でしたが、22 年度は対面とオンライン併用での委員会開催として 50,000 円を 100,000 円にしました。(通常は 15 万円)
- ⑨当年度支出合計は 13,336,000 円になります。
- ⑩当年度収支差額は -592,000 円です。
- ⑪次年度繰越金は 2,629,487 円
- ⑫支出合計は 15,965,487 円です。

会計報告は以上です。

何度も繰り返しのようになりますが、女性連合活動は「会費」と『世の光』代金で賄われています。先ほど表を見ていただきましたが、会員数(会費納入者数です)と『世の光』購読数どちらも年々減少しています。

2020 年度～21 年度はコロナ感染拡大の影響でやむなく活動を自粛しなければならない状況になったことで支出が削減され、なんとか会計が保たれてきたと思いますので、コロナが収束しても、オンラインを併用していくことをしていきたいと思います。そして、ほかの支出も見直していくなどして支出

削減のための対策を考えていきたいと思っています。それでも、このままいくと女性連合の財政状況はかなり厳しくなることが予想されます。財政課題も含めて、「これからの私たちの女性連合」を一緒に考えていきたいと思っています。

よろしく願いいたします。以上です。

(質疑)

松本(多良見)：2022年度は、全国小羊大会は通常開催ということだったが、天城山荘での開催は見込めない状況だと思う。開催方法や場所などについて何か情報があればお願いしたい。

吉高会長：コロナの状況次第であるが、ぜひとも全国小羊大会を対面で行いたいと思っている。場所については、今から探していきたい。良い場所があれば是非教えていただきたい。下見を行って検討していきたい。子どもたちもキャンプを楽しみにしている。

第8号議案 2022年度世界バプテスト祈禱週間に関する件

(説明) 吉高会長

日程：2022年11月27日(日)～12月4日(日)

・目標額：3,500万円(参考：2020年度目標額4,000万円、実績29,662,407円)

・用途：

連盟、国外伝道、国内伝道のために	3,150万円
(国外伝道 2,900万円、国内伝道 250万円)	
福島移住女性支援ネットワーク(EIWAN)	20万円
アガペホーム(カンボジア)	20万円
プリ・キンダーガルテンスクール(インド)	20万円
ブレス・カンボジア・ネットワーク(カンボジア)	20万円
イドナ村女性協同組合(イスラエル・パレスチナ)	20万円
BWAid(世界バプテスト連盟救援委員会)	20万円
国際緊急支援	60万円
推進活動費	150万円
調査・育成費	20万円

※用途説明・議案書の14～28頁、世界バプテスト祈禱週間献金推移表・議案書30頁参照

目標額については、先のことは不透明ではありますが、2020年度コロナを初めて経験し大変な中でしたが、3,000万円近くの多くの献金がささげられました。今年度(2021年度)各女性会でさまざまな工夫をされていること、そして来年度(2022年度)に希望をもって、19年度の実績に合わせ3,500万円を提案いたします。

国際緊急支援を30万円、推進活動費を20万円増額しました。推進活動費については、2019年度総会で「余剰が出たら国際緊急支援に回す。さらに余剰がある場合には、連盟の「国外伝道」への献金とする」ことが承認されました。近年、気候変動によって日本を含む世界各地で想定外の災害が次々と起こり、また、コロナを災害と捉え20年度は自然災害の支援に加え、いくつかの団体に祈りと共に国際緊急支援をお送りしました。世界を見ていくとコロナ

によるさまざまな影響が続くのではないかと予想されているため、緊急支援が必要になる場合のことを考え増額しました。用いられなかった献金は、すべて連盟「国外伝道」へおささげいたします。

質問はなし

第9号議案 第51回（2023年度）総会・信徒大会に関する件

（説明） 吉高会長

日時：2023年10月19日（木）～21日（土）場所：福岡開催（予定）

2022年度の信徒大会を50周年記念大会にと予定していましたが、コロナなど諸般の事情を役員・実行委員会で協議し、2023年度の総会、信徒大会は、福岡での開催を提案いたします。会場については、現在、西南学院大学大チャペルを仮押さえしています。

福岡地方連合の皆さまには、2017年度に大変お世話になりました。ぜひ23年度もご協力いただければ感謝です。また役員選挙の年となりますが、地方大会のため方法については今後検討していきます。

質問 なし

第10号議案 第50回（2022年度）総会議長・副議長に関する件

（説明） 吉高会長

総会議長、副議長について、役員会に一任と提案いたします。

以上、すべての議案説明を終わります。

VI. 懇談の時 司会：米本幹事

① 議案に関してお寄せいただいた質問や意見の紹介

【意見】

- ・花野井教会より。第8号議案に賛成。コロナ禍の中、世界祈祷週間献金が例年より厳しい状況であるが、世界にいらっしゃる宣教師の先生や大変な状態にある世界の人々を覚え献金と祈りで支えていきたい。
- ・浦和教会より。第7号議案の2022年度予算案に反対。科目12・会議費100万円について2021年度補正予算は25万円になっている。オンライン会議によって大幅に削減できる。女性連合の収入は年々減少してきていることから、22年度以降も経費を節約する為にオンライン会議を主軸として行うべきではないか。実行委員会も交わりの観点では必要であるが、半分の回数に減らすことも検討してほしい。少ない発動費を有効に生かして欲しい。

応答：実行委員会は、春の連盟事務所での顔合わせと天城山荘の総会信徒大会の時とこれまで年二回だった。連盟事務所での会議をやめて、年1回にしても、集まって大会を行うときには実行委員会を対面で行うことになる。22年度については書面総会の計画なので、補正予算で修正できる。1年に1度は実行委員会で集まり交わりと励ましが行えるとよ

いも思っている。

②課題の紹介

財政の危機に関して、会計監査より、シミュレーションを行うことのアドバイスがあった。それに従って作成した「一般・『世の光』総資産シミュレーション」のグラフを共有し説明。今年度から『世の光』会計収支は赤字に、一般会計も 22 年度から赤字になり、繰越金は年々減り、2027 年度には、資産はマイナスに転落する予測。非常に危機感を持っている。会員の減少、活動の見直し、ひいては女性連合の使命や存在意義という根本から見直していく必要がある。それに伴い規約も変更していかなければならないなど、取り組むべき緊急の課題は明らか。

今日のことも教会に持ち帰って、各教会の女性会で分かち合い、いつでも意見を寄せていただきたい。皆さんにとって、女性連合とは、『世の光』とはどのような存在でしょうか。

伊藤世里江（シンガポール）：支出を何とか抑えられないのか、ずっと考えてきた。例えば『世の光』の値段を変えずにページを半分にする、隔月にするなどは検討したか。

米本幹事：隔月にすると、収入が減ってしまい、赤字を増やすことになることが分かった。ページを半分にしても、印刷費はそれほど減らないということも。執筆謝礼については、見直しても良いかもしれない。表紙はカラーページになったが、以前の二色刷りよりコストはかからない。今さまざまなことを調査、検討している。

松本（多良見）：森恭子さんの副会長確定・辞退に関して、やはり連盟委員との兼務は非常に難しいと思う。森さんの提言にもある通り、候補者を出す段階の基準を明文化する必要があると思う。

米本幹事：その必要があると思う。今後検討していきたい。今回初めての書面による役員選挙で、今まで天城山荘で行っていた手順と大分違い、候補に挙がった方々にも精神的な負担があったと思う。これまでのやり方についても協議・見直したい。

中村（福岡ベタニヤ村）：役員候補の件であるが、今のことに加え、現在各教会の状況がかなり厳しい状況があると思う。候補者として出された場合、候補者選考委員の方から、大丈夫か否かなど、聞いていただくことはできないのだろうか。

吉高会長：これからの女性連合を検討するチームでそのことも含め、選挙のやり方や規約を検討していきたいと考えている。

米本幹事：先ほども申し上げた通り、天城での手順と大分違うので検討が必要だと思う。現在の状況に則した役員選挙の在り方を考えていきたい。今回の森恭子さんのように連盟の重い責務を負っている場合はかなり特殊なケースと言わざるを得ない。どこまで各事情を考慮していくのか判断は難しい。個別の対話も必要になると思う。

小笠原（豊橋）：天城山荘が閉鎖になったこともあり、オンラインも併用した大会、総会を検討してもらいたい。

米本幹事：その通りであると思う。オンラインを併用することで、財政的にも、また参加者も

負担なく参加できると思う。反面、オンラインで繋がれない方々のことも考え、方法を検討していきたいと思う。

西島（帯広）：先ほど会計のことで文書の意見があったと思うが、会議費の中で、オンラインでできるのだから、今後はオンラインのみで行って欲しい。天城に行くほうが大変な教会が多いと思う。オンラインで皆さんにも会え、会議ができることがわかったのだから、対面ということにしがみついている必要はないのではないか。財政が厳しいのだから、もっと真剣に経費を削減することを考えていっても良いと思う。

米本幹事：ご意見に感謝する。会議はすべてオンラインにしてはというご意見として受けとった。総会については、全く集まれないのも寂しいのではないかと思う。集まれる人は対面で集まり、教会ごとや地方連合ごとに集まりサテライトなど、方法を引き続き模索・検討していきたい。天城については、今のところ閉鎖ではなく休館である。

中田連盟常務理事：連盟として改めて天城山荘の活動を復活させるのは現実的には無理である、ということは理事会で決定している。厳しい状況であることをご理解いただきたい。11月27日土曜日の「連盟定期総会議案説明会」にも参加いただければ嬉しい。午前中は主に天城山荘のこと、午後は連盟機構改革のことをご説明する予定である。

米本幹事：短い時間で申し訳ない。今日以降も、皆さんのご意見ご質問を、メールでも書面でも良いので、是非お寄せいただきたい。

VII. 閉会挨拶 吉高会長

VIII. 閉会祈祷 戸井田書記

IX. 諸連絡・案内

X. 賛美 新生讃美歌 382 番（女性連合会歌）「立ち上がりてわれら」

《終了》